

【5】 地域福祉活動計画の概要

住みなれた地域で、これからも安心して暮らしたい！

これは誰もが願っていることです。

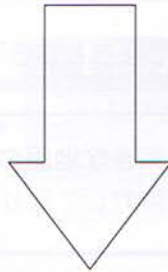


いま、地域では…

高齢者の見守り、子どもの安全、ごみ問題、町内会活動…など行政のサービスだけでは解決することが難しい、さまざまな問題があります。

むかしは…

「向こう三軒両隣」という近所の助け合いのなかで解決できていたかもしれません。



どうすれば解決できる？



「地域の中で問題となっていること・困っていること」などを、『**地域みんなの問題**』と考え、その解決について『**地域みんなで考え、取り組む**』ことが必要です。

＝ 地域福祉の考え方

◎この地域福祉の考え方を進めていくきっかけとして、「地域福祉“お茶の間トーク”」を行い、皆さんの住んでいる地域のことについて話し合いました。

P7～P8に掲載しています。

◇話し合った内容をもとに、さらに住みよい「日宇」のまちをつくるために作成したのが、この

日宇地区地域福祉活動計画

育てよう未来へつなぐまちづくりです。

これからも、みんなで協力して、安心して暮らせる地域をつくりましょう！

※この活動計画は、市内31地区でそれぞれ作成され、それをもとに、市全体の「地域福祉計画」が策定されます。

【6】日宇地区「地域福祉“お茶の間トーク”」

“お茶の間トーク”ってなに？

もっと住みやすい日宇地区のまちにするために、日宇地区の人々が、2回にわたっていろいろなことを話し合ったのが“お茶の間トーク”です。

参加者の皆さんがグループに分かれて、模造紙や付せん紙を使いながら、誰でも平等・自由に意見を出し合う「ワークショップ」という方法で行われました。

クイズやゲームなどを交えて楽しみながら、大人も子どもも一緒に、まちの中の問題やその解決方法を考えることで、参加者の皆さんの交流にもなりました。

第1回

テーマ：地域のことを見つめ直そう！

～ 地域について考えるきっかけづくり ～

日程：平成18年7月29日（土）

内容：●お茶の間クイズ

●地域マップづくり

●地域の“よかところ”・“気になるところ”探し



まずは日宇地区にちなんだクイズや、大きな地図の中から学校や施設を探すマップづくりに、グループごとに協力して取り組み、コミュニケーションを深めました。

緊張もほぐれたところで、参加者それぞれが思う日宇地区の“よかところ”と“気になるところ”を出し合いました。

参加した皆さんにとっては、お互いに同じ悩みを持っていたり、知らなかったことを再発見するいい機会になったようです。

※下のような意見が多く出されました。



【よかところ】

- ご近所の交流が深い
- 人情味がある
- 山、川など自然に囲まれている
- 近くにお店が多く、買い物が便利

【気になるところ】

- 狭い道路が多く、交通事故が心配
- 街灯が少ない
- 街灯の電球切れ
- ごみのポイ捨てが多い

\\ 皆さんも日宇地区“お茶の間クイズ”に挑戦してみましょう!! //

問1 日宇川の長さは、どれくらいあるでしょう？

- ①約4,400m ②約5,500m ③約6,600m

問2 「白岳神社」の境内に上る階段は、いったい何段あるでしょう？

- ①48段 ②59段 ③61段



※答えはP.8の下にあります。

第2回

テーマ：地域みんなにできることを探そう！

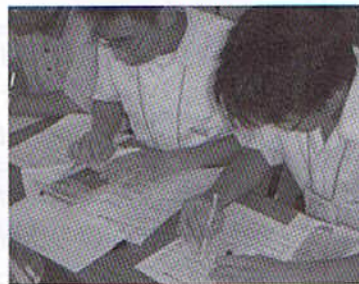
～ 小さなことでも地域のために～

日程：平成18年8月26日（土）

内容：●グループ対抗発想ゲーム

●気になり具合診断

●みんなにできることを探そう



第2回も、まずはゲームなどで交流した後、前回出された“気になるところ”の中から、皆さんの関心が高い問題を選びました。

さらに、その“気になるところ”を解決するために、「地域みんなにできることはないのか」が話し合われました。

グループごとにいろいろな世代の方から、自由に、そして熱心に意見が出されていました。

※出された意見の中からいくつかご紹介します。

【問題】

のら猫や犬によるふんの被害がある



【“みんなにできること”の意見】

- 一人ひとりがのら猫にはえさをやらない
- ペットは責任を持って飼うよう徹底する
- えさになるごみはきちんと処理する

参加した皆さんの感想

- ◎地域への関心を持った人が意外と多い事に心強いものを感じた。
- ◎日宇地区の良いところや悪いところを改めて感じる事ができた。
- ◎もう少し小さい地域に分かれての問題を考えたいと思った。
- ◎各地域に問題があることがわかった。関係者が一体となって解決することがぜひ必要。
- ◎参加者が地域を良くしようと意見を出し合っている姿を見て、とても嬉しく感じた。

“お茶の間トーク”のねらいはこういうところにもあります。

日宇地区の皆さん一人ひとりが、地域を良くしたいという気持ちを持ち、“できること”を考え取り組むことが大切なのです。



この“お茶の間トーク”での意見をもとに、福対協が中心となってまとめた、次のページの**“みんなの力でできること”**をぜひ実行していきましょう！

